

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公開番号】特開 2010-6762 (P2010-6762A)

【公開日】平成 22 年 1 月 14 日 (2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2010-002

【出願番号】特願 2008-169211 (P2008-169211)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4468 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4468

A 6 1 P 25/04

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 9/70 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 27 日 (2011.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体、フェンタニル含有粘着性膏体層及び剥離ライナーからなる経皮吸収型貼付剤において、経皮吸収型貼付剤全体に対して 0.01 ~ 0.5 質量 % の L - アスコルビン酸パルミチン酸エステルをフェンタニル含有粘着性膏体層に含有するフェンタニル含有経皮吸収型貼付剤。

【請求項 2】

L - アスコルビン酸パルミチン酸エステルの配合量が、フェンタニルの配合量に対する質量比 (L - アスコルビン酸パルミチン酸エステル / フェンタニル) で 0.0015 ~ 0.5 の範囲である請求項 1 記載のフェンタニル含有経皮吸収型貼付剤。

【請求項 3】

フェンタニル含有粘着性膏体層にゴム成分を含有する請求項 1 又は 2 記載のフェンタニル含有経皮吸収型貼付剤。

【請求項 4】

フェンタニルを含有する経皮吸収型貼付剤中に、L - アスコルビン酸パルミチン酸エステルを経皮吸収型貼付剤全体に対して 0.01 ~ 0.5 質量 % 配合せしめることを特徴とするフェンタニルの一次分解物及び / 又は二次分解物生成抑制方法。

【請求項 5】

一次分解物がフェンタニル - N - オキサイド体である請求項 4 記載のフェンタニルの一次分解物及び / 又は二次分解物生成抑制方法。

【請求項 6】

二次分解物が、N - フェニルプロピオンアミド、N - (1 - ヒドロキシピペリジン - 4

- イル) - N - フェニルプロピオンアミド、(1 - フェネチル - 2 - オキシピペリジン - 4 - イル) - N - フェニルプロピオンアミドおよびスチレンのいずれか 1 種以上である請求項 4 又は 5 記載のフェンタニルの一次分解物及び / 又は二次分解物生成抑制方法。